

もっとみらいへ 新しいみらいへ

本市は、平成30年(2018年)に策定した「第2次つくばみらい市総合計画 前期基本計画」に基づき、総合的かつ計画的なまちづくりを進めてきました。

この間、市民活動の拠点「みらい平市民センター」の開設、まちへの愛着を醸成するシティプロモーション「I LIVE IN TSUKUBAMIRAI」、増加する子育て世代に対応した「妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援」など、時代の潮流に対応した様々な施策を推進してまいりました。

今後も、「福岡工業団地への企業立地」や「(仮称)つくばみらいスマートインターチェンジの開通」などにより、さらに飛躍的なまちの発展が期待されます。

このように、市民活動の機運を高め、成長するまちへの愛着を醸成し、好循環で持続可能なまちづくりを進める基本指針として、令和5年度(2023年度)を初年度とする「第2次つくばみらい市総合計画 後期基本計画」を策定しました。

総合計画審議会には、様々な分野で活躍される団体、企業、有識者の方々に加え、大学生を始めとして20代・30代の若い世代の方にもご参加いただき、まちづくり全般にわたって貴重なご意見をいただきました。

また、まちのみらいを考える市民ワークショップなどにも多くの方々にご協力いただき、「まちをより良くするために自分たちにできること」などのご提案をいただきました。

計画策定にご協力いただいた方々を始め、つくばみらい市に関わる市民・企業・団体などの皆様の想いに応えるべく、重点的に取り組む4つの項目を「つくばみらい市が大切にしたいこと」として設定しています。

また、市民の幸福感の度合いをまちづくりに活かす「みらい指標」を設定することで、日々の暮らしの中で市民一人ひとりの幸福感が高まるまちづくりを目指しています。

昨日よりもっと進んだ新しい今日へ、そして新しい明日へ、「もっとみらい」「新しいみらい」に繋がるつくばみらい市に向けて取組を加速させます。

結びに、本計画の策定にあたり、貴重なご意見、ご提言をいただきました総合計画審議会委員の皆様をはじめ、ご尽力を賜りましたすべての皆様に心から感謝申し上げます。



つくばみらい市長

小野川 浩